

DMA 設定ソフト

(for DMA-T2K)

操作説明書 (Rev:0.02)

2015年1月6日

株式会社 **ハネロン**

目次

1	はじめに.....	1
2	動作環境.....	1
3	起動手順.....	3
4	DMA-T2K の接続方法	3
5	画面説明.....	4
5.1	メイン画面	4
5.1.1	メニューバー	5
5.1.2	ツールバー.....	6
5.1.3	設定メニュー	6
5.1.4	編集モード	7
5.1.5	作成メニュー	8
5.1.6	保存メニュー	8
5.2	設定画面.....	9
5.2.1	接続設定	9
5.2.2	本体動作設定	18
5.2.3	接点入力設定	29
5.2.4	アナログ入力設定	33

1 はじめに

「DMA 設定ソフト(for DMA-T2K)」(以下、本ソフトと記載)は、DMA-T2Kの動作に必要な設定値(以下、パラメータと記載)を設定するためのアプリケーションソフトウェアです。

本ソフトを利用することで、DMA-T2Kのパラメータを容易に変更したり、パラメータをファイルに保存したりすることができます。

なお、本ソフトはファームウェアバージョン「2.00.1」以降のDMA-T2Kの設定が可能です。それ以前のバージョンにつきましては正常に設定できませんので、ご注意ください。

設定後は、必ず通信確認を実施してから、設置してください。

2 動作環境

本ソフトは下記の OS が動作するパソコンにおいて、動作を確認しています。

Windows 7(32bit)

※ご使用の環境によってはインストールや動作が正しく実施されない場合があります。

パソコンからDMA-T2Kへのパラメータ設定を行うために、USB ケーブル(A オス-miniB オス)通信用のケーブルを使用します。本ドライバソフトウェアは、下記ホームページより無償でダウンロードできます。

	内容	備考
ドライバのセットアップ用ファイル	CDM v2.12.00 WHQL Certified.exe (FT232R 用ドライバ)	FTDI 社の USB-Serial 変換 IC 用ドライバ (2014 年 9 月 29 日時点の最新版)
最新のドライバ	http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm	Comments 欄の「 <u>setup executable</u> 」部分

【インストール手順】

- 1) 「CDM v2.12.00 WHQL Certified.exe」を管理者権限で実行し、USB-Serial 変換用のドライバをインストールします。
- 2) パソコンとDMA-T2Kを USB ケーブルで接続することで、COM ポートが追加されます。



(DMA-T2Kの側面にある USB コネクタ(B メス)部分に接続)

== == == == == == == ==

|| **【注意事項】** ||

|| ドライバの自動インストールを行うまでは、 ||

|| USB ケーブルを接続しないでください。 ||

== == == == == == == ==

【COM ポートの確認】

(1) 「デバイスマネージャ」を開く（下記何れかで操作）

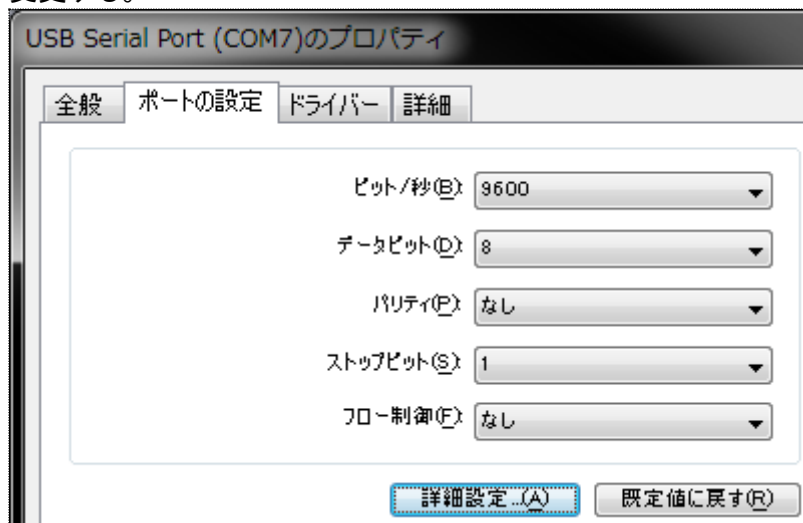
- スタートメニューの「コンピュータ」を右クリックして「プロパティ」-「デバイスマネージャ」を選択
- コントロールパネルの「システムとセキュリティ」-「システム」-「デバイスマネージャ」を選択

(2) 「ポート(COM と LPT)」にある「USB Serial Port (COM *)」で COM 番号(*)を確認



本ソフトで利用可能な COM 番号は「16」までとなる。

「COM17 以降」であった場合は、「ポートの設定」タブ-「詳細設定...(A)」を選択し、「COM16 以内」に変更する。



PC 設定ソフトを実行するには、Visual Basic 6.0 SP6 ランタイムライブラリが必要です。下記ホームページよりダウンロードするようお願いします。

	内容	備考
実行環境ファイル	Visual Basic 6.0 SP6 ランタイムライブラリ 第4版	
ダウンロード先	http://www.vector.co.jp/download/file/win95/util/fh426646.html	

3 起動手順

インストール後、以下の手順で本ソフトを起動してください。

- (1) タスクバーのスタートボタン(デスクトップ画面左下)をクリックします。
- (2) スタートメニュー内の「プログラム(P)」、もしくは「すべてのプログラム(P)」をクリックします。
- (3) プログラムメニュー内の「DMA World」をクリックします。
- (4) メニュー内の「DMA 設定ソフト (for DMA-T2K)」をクリックします。

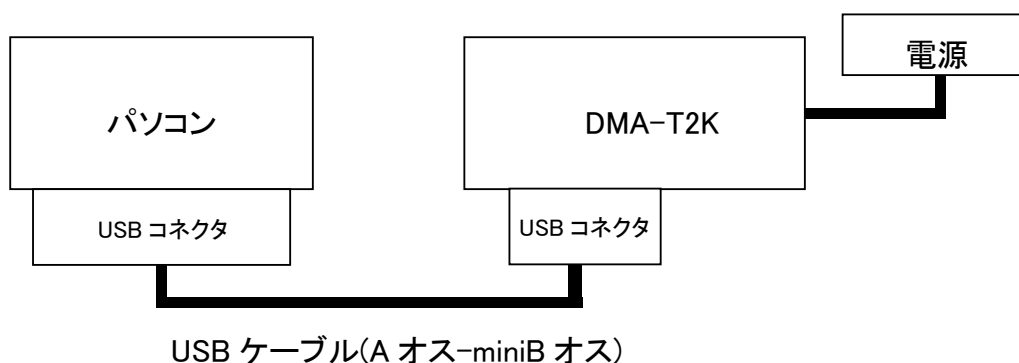
4 DMA-T2Kの接続方法

本ソフトを使用してDMA-T2Kと通信操作(パラメータの読み込み/書き込み/初期化(バックアップ RAM 初期化含む)、動作履歴の読み出し)を行う場合、パソコンとDMA-T2Kを下図のように接続してください。

接続が終わったらDMA-T2Kの「テスト」キーを押したまま、DMA-T2Kに電源を供給してください。

DMA-T2Kの「CONDITION」LED が橙色に点滅している事を確認したら、押していたキーを離します。この状態で、本ソフトを使用して通信操作を行ってください。

なお、パソコンのシリアルポートの通信速度は本ソフトによって自動的に設定されますので、特に設定する必要はありません。



DMA-T2Kとの通信操作中にパソコン上でシリアルポートを使用するソフトウェア(Tera Term 等)が起動していると、シリアルポートが競合して通信エラーが発生する恐れがあります。

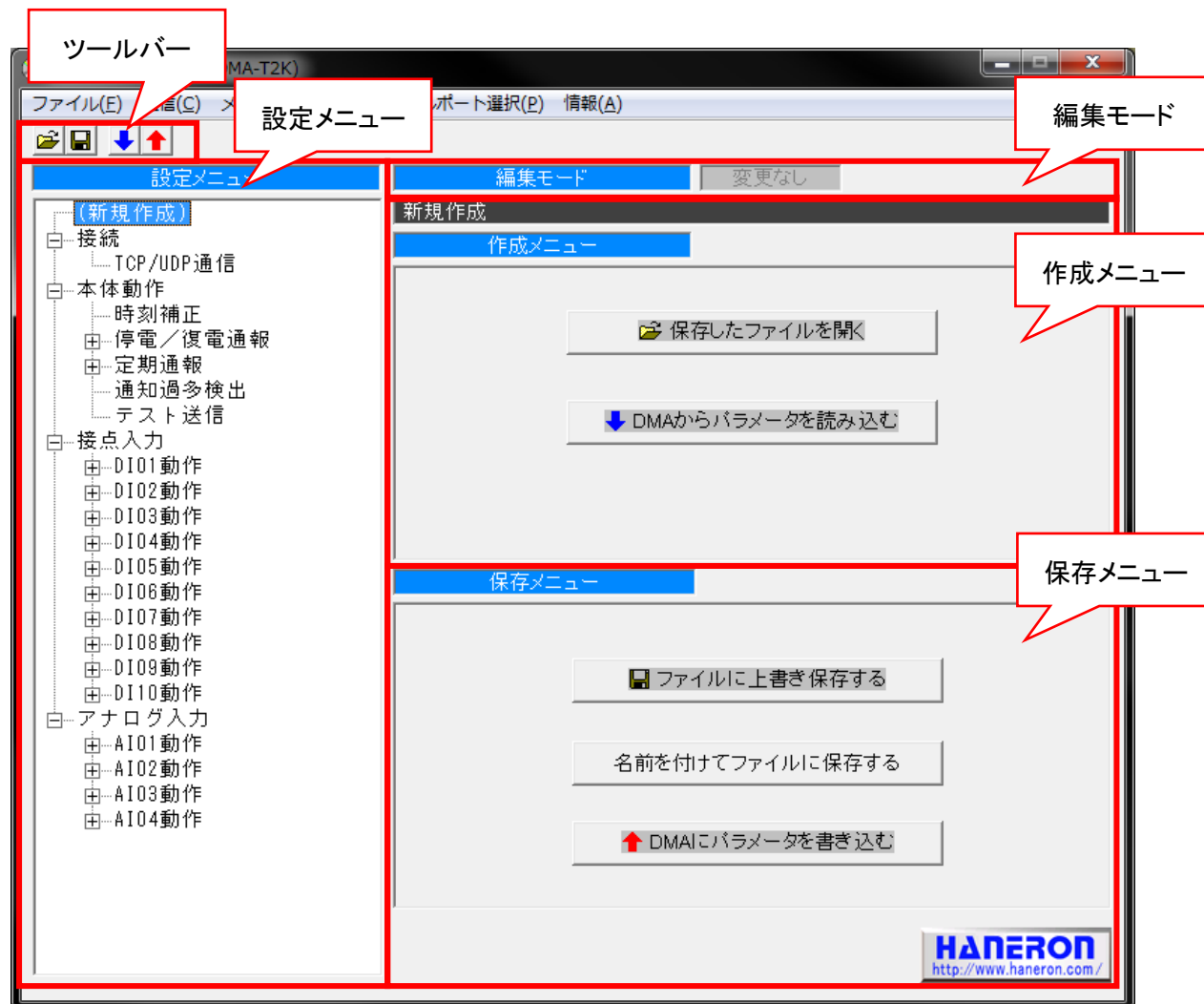
本ソフトの使用中はシリアルポートを使用するソフトウェアを起動しないようにしてください。

5 画面説明

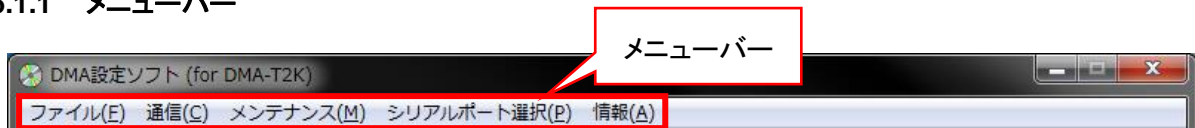
5.1 メイン画面

最初に表示される画面です。

この画面で、詳細なパラメータの設定、パラメータ作成方法の選択、DMA-T2Kに保存されたパラメータの読み込み／書き込み、パラメータ保存方法の選択などの操作を行います。



5.1.1 メニューバー








メニューバー内の項目をクリックすると、以下の操作を行います。

項目		内容
ファイル	開く	パラメータを保存したファイルを開いて内容を読み込みます。
	上書き保存	設定したパラメータを読み込んだファイルに上書き保存します。編集モードが「新規作成」、「DMA-T2Kパラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
	名前を付けて保存	新しいファイルを作成して、設定したパラメータを保存します。
	終了	本ソフトを終了します。 ※パラメータが変更されている場合、ソフトを終了する前に終了確認ダイアログを表示します。
通信	パラメータ読み込み	パソコンに接続されたDMA-T2Kからパラメータを読み込みます。
	パラメータ書き込み	パソコンに接続されたDMA-T2Kに設定したパラメータを書き込みます。
メンテナンス	現在入力値読み込み	パソコンに接続されたDMA-T2Kの現在入力値を読み出して表示します。
	日時情報設定	パソコンに接続されたDMA-T2Kの日時情報を設定します。
	本体再起動	パソコンに接続されたDMA-T2Kを再起動させます。
	パラメータ初期化	パソコンに接続されたDMA-T2Kのパラメータを工場出荷時の状態に戻します。(SRAM もクリアされます)
	動作履歴	パソコンに接続されたDMA-T2Kの動作履歴ログを読み出して表示します。
	本体 FW バージョンアップ	パソコンに接続されたDMA-T2Kのファームウェアをバージョンアップさせます。
	シリアルポート選択	DMA-T2Kを接続したパソコンのシリアルポート番号を自動認識し、選択します。 (シリアルポート番号の上限は16となっております)
情報	バージョン情報	本ソフトのバージョン情報ダイアログを表示します。

5.1.2 ツールバー

ツールバー内のアイコンをクリックすると、以下の操作を行います。

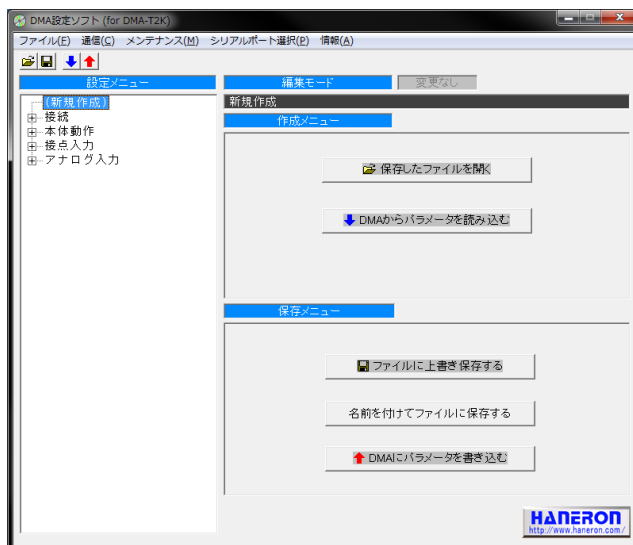
アイコン	名称	内容
	新規にパラメータを作成する	新規作成画面を使ってパラメータを設定します。
	保存したファイルを開く	パラメータを保存したファイルを開いて内容を読み込みます。
	ファイルに上書き保存する	読み込んだファイルに設定したパラメータを上書き保存します。 編集モードが「新規作成」、「DMA-T2Kパラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
	DMA からパラメータを読み込む	パソコンに接続されたDMA-T2Kからパラメータを読み込みます。
	DMA にパラメータを書き込む	パソコンに接続されたDMA-T2Kに設定したパラメータを書き込みます。

5.1.3 設定メニュー

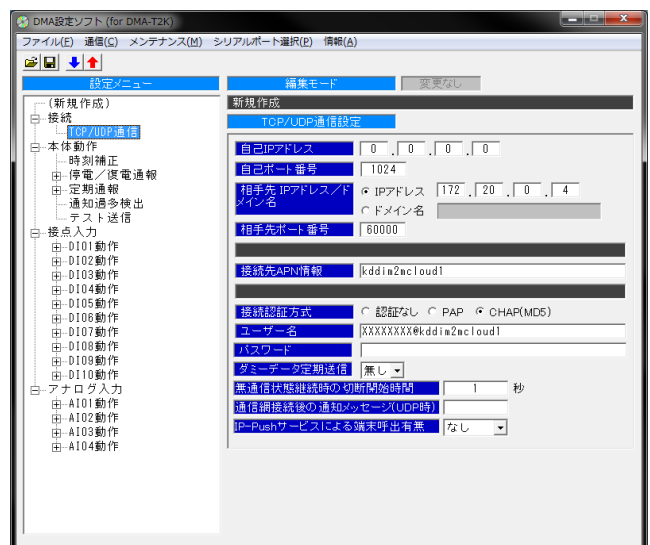
詳細なパラメータ設定を行う項目を選択します。

メニュー内の項目をクリックすると画面右側の表示が切り替わり、選択した項目の設定画面が表示されます。設定画面上の入力項目については、5項からの説明を参照してください。

本ソフトを起動した場合、設定メニューの先頭行に「(新規作成)」が表示され、編集モードの窓に作成メニューと保存メニューが表示されます。



(作成メニュー／保存メニュー表示時)



(設定画面表示時)

5.1.4 編集モード

現在の編集モードを表示します。

作成メニューから選択した編集方法によって、以下のように表示が切り替わります。

(新規作成時)

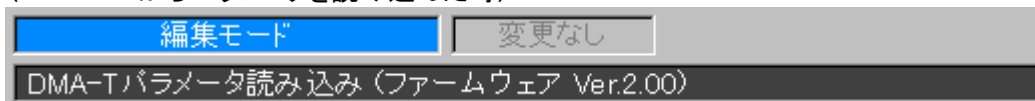


(※設定ソフトを起動したときの状態です。)

(保存したファイルを読み込んだ時)



(DMA-T2Kからパラメータを読み込んだ時)



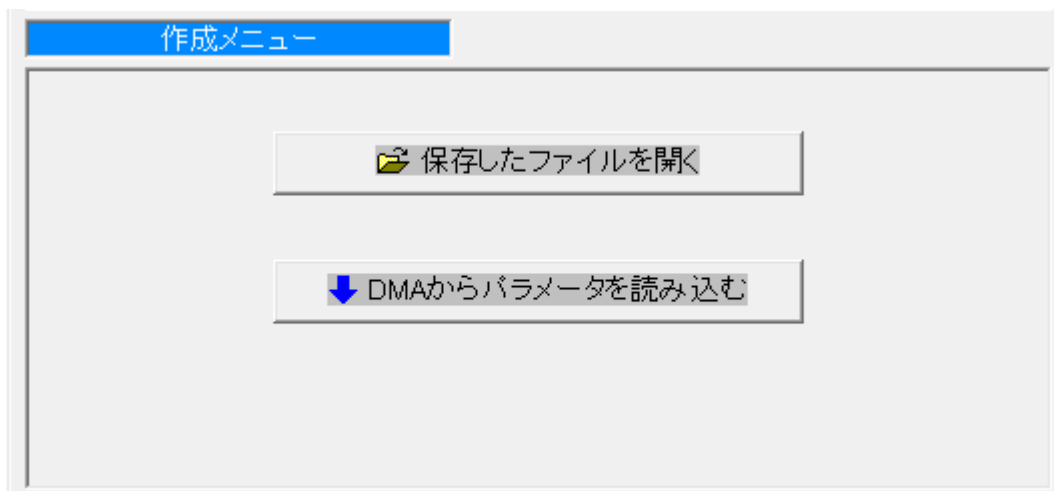
また、設定画面でパラメータの設定値を変更した場合、編集モード右側の「変更なし」の表示が「変更あり」に切り替わります。

(パラメータ設定値が変更された時)



5.1.5 作成メニュー

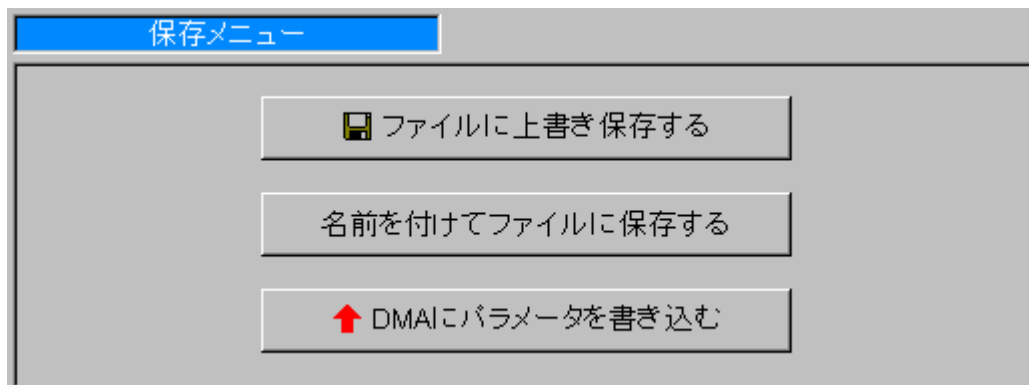
パラメータ設定を行う際、元になる設定値の作成方法を選択します。



名称	内容
保存したファイルを開く	パラメータを保存したファイルを開いて内容を読み込みます。
DMA からパラメータを読み込む	パソコンに接続されたDMA-T2Kからパラメータを読み込みます。

5.1.6 保存メニュー

設定したパラメータをファイル、またはDMA-T2Kに保存する方法を選択します。



名称	内容
ファイルに上書き保存する	読み込んだファイルに対して、設定したパラメータを上書き保存します。編集モードが「新規作成」、「DMA-T2Kパラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
名前を付けてファイルに保存する	新しいファイルを作成して、設定したパラメータを保存します。
DMA にパラメータを書き込む	パソコンに接続されたDMA-T2Kに、設定したパラメータを書き込みます。

5.2 設定画面

5.2.1 接続設定

設定メニューの「接続」をクリックすると表示される画面です。

使用する無線電話端末、通信方式の選択など、接続動作全般に関するパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
通信失敗時リトライ (無し、1～10回)	通信失敗時のリトライ回数を設定します。
タイムアウト判定時間 (1～5分)	サーバー接続時、および通信時にサーバーからの応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。
通信方式 (メール UDP TCPクライアント KDDIクラウドサービス)	DMA-T2Kが通信を行う方式を選択します。 ※メール選択される場合 SMTP サーバー、POP サーバーの設定が必要です。5.2.1.1をご参照ください。メール以外選択される場合はUDP/TCP通信設定が必要です。5.2.1.2をご参照ください。

5.2.1.1 メール通信設定

5.2.1.1.1 プライマリ／セカンダリ／ターナリ設定

通信方式が「メール」と選択された場合、設定メニューの「プライマリ」、「セカンダリ」、「ターナリ」をクリックすると表示される画面です。

接続先 APN 情報や接続認証時のユーザー名など、回線接続時に必要なパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
送信元メールアドレス (54 文字以内。半角英数小文字のみ使用可能)	DMA-T2Kのメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメールアドレス形式で入力してください。 ※このアドレスはメールヘッダの FROM 情報に記載されます。
自己 IP アドレス (0.0.0.0～255.255.255.255)	DMA-T2Kの IP アドレスを設定します。 ※公衆携帯電話網などの OPEN 網使用時は、「0.0.0.0」としてください。
接続先 APN 情報 (100 文字以内。半角英数字、「-」、「.(ピリオド)のみ使用可能)	公衆携帯電話網(または VPN 専用網)への接続に使用する APN 情報を設定します。

操作説明書

名称(入力範囲)	内容
接続認証方式	回線接続時の認証方式を選択します。
ユーザー名 (54 半角文字以内)	回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。
パスワード (16 半角文字以内)	回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。
DNS自動取得 (0, 1)	DNS サーバの自動取得有り無し ● 0:DNS サーバのアドレスを自動的に取得する ※ユーザー指定された DNS サーバを使用する ● 1:固定の DNS サーバのアドレスを使用する ※DHCP で指定された DNS サーバを使用する
DNS サーバー(優先)固定 (0.0.0.0~255.255.255.255)	優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
DNS サーバー(代替)固定 (0.0.0.0~255.255.255.255)	代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

5.2.1.1.2 送信 (SMTP) サーバー設定

設定メニューの「送信 (SMTP) サーバー」をクリックすると表示される画面です。

メール送信に使用する送信 (SMTP) サーバーのパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
IP アドレス (0.0.0.0～255.255.255.255)	送信 (SMTP) サーバーの IP アドレスを設定します。
ドメイン名 (48 半角文字以内)	送信 (SMTP) サーバーのドメイン名を設定します。 ※IP アドレスかドメイン名のどちらかを選択して入力してください。
接続先ポート番号 (0～65535)	送信 (SMTP) サーバーのポート番号を設定します。
SMTP 認証	SMTP 認証を実施するかどうか選択します。 ※SMTP 認証は送信 (SMTP) サーバーが対応していなければ実施できません。また、SMTP 認証を使用する場合、接続先ポート番号の変更が必要になる場合があります。
SMTP 認証アカウント名 (32 半角文字以内)	SMTP 認証を実施する際のアカウント名を設定します。
SMTP 認証パスワード (16 半角文字以内)	SMTP 認証を実施する際のパスワードを設定します。
POP before SMTP	メールを送信する際、事前に POP 認証 (POP before SMTP) を実施するかどうか選択します。

5.2.1.1.3 受信 (POP) サーバー設定

設定メニューの「受信 (POP) サーバー」をクリックすると表示される画面です。

メール受信に使用する受信 (POP) サーバーのパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
IP アドレス (0.0.0.0～255.255.255.255)	受信 (POP) サーバーの IP アドレスを設定します。
ドメイン名 (48 半角文字以内)	受信 (POP) サーバーのドメイン名を設定します。 ※IP アドレスかドメイン名のどちらかを選択して入力してください。
接続先ポート番号 (0～65535)	受信 (POP) サーバーのポート番号を設定します。
POP 認証アカウント名 (32 半角文字以内)	受信 (POP) サーバーに接続するためのアカウント名を設定します。
POP 認証パスワード (16 半角文字以内)	受信 (POP) サーバーに接続するためのパスワードを設定します。

5.2.1.1.4 メール送信設定

設定メニューの「メール送信」をクリックすると表示される画面です。

メール送信時に使用する接続設定の選択と、メールの送信先アドレスの設定を行います。

* 設定後は必ずメールを送信することを確認してください。

名称(入力範囲)	内容
送信サーバー選択	<p>メールの送信に使用する送信(SMTP)サーバーを選択します。</p> <p>※通常はプライマリのみ選択します。</p> <p>※プライマリ以外にもメール送信可能なサーバーが設定されている場合、それらのサーバーを選択する事で、メール送信失敗時に別のサーバーを使って再送信を行います。</p>
送信先アドレス (54文字以内。半角英数小文字のみ使用可能)	<p>メールを送信する相手先のアドレスを最大10箇所まで設定します。</p> <p>※メール受信を行う場合、ここに登録されたアドレスから受信したメールだけを有効なメールとして受け付けます。</p>

5.2.1.1.5 メール受信設定

設定メニューの「メール受信」をクリックすると表示される画面です。

メール受信時に使用する接続設定の選択と、受信方法の選択を行います。

* 設定後は必ずメールを受信することを確認してください。

The screenshot shows the 'メール受信設定' (Email Reception Settings) screen. At the top, there are buttons for '編集モード' (Edit Mode) and '変更あり' (Changes Made). Below that, it says '新規作成' (New Creation). The main title is 'メール受信設定'. A warning message states: 'サーバーが空白(未設定)の場合、受信サーバーとして選択できません。' (If the server is blank (not set), it cannot be selected as the receiving server.).

The settings are organized into three sections:

- 受信サーバー選択** (Receiving Server Selection):
 - プライマリ (Primary): Server and Account fields are active.
 - セカンダリ (Secondary): Server and Account fields are disabled (greyed out).
 - ターナリ (Turnover): Server and Account fields are disabled (greyed out).
- 送信後の受信処理** (Reception Processing After Sending):
 - メール送信後にメール受信を実施しない (Do not perform email reception after sending).
 - メール送信後にメール受信を実施する (Perform email reception after sending).
- 定期的な受信処理** (Periodic Reception Processing):
 - 定期的なメール受信を実施しない (Do not perform periodic email reception).
 - 1 時間 0 分ごとにメール受信を実施する (Perform email reception every 1 hour 0 minutes).

名称(入力範囲)	内容
受信サーバー選択	メールの受信に使用する受信(POP)サーバーを選択します。
送信後の受信処理	メール送信後に引き続きメール受信を実施するかどうかを選択します。
定期的な受信処理 (実施しない、0 時間 1 分～ 99 時間 59 分)	定期的にメール受信を行うかどうかを選択します。 また、定期的に受信する場合の実施間隔を設定します。

5.2.1.2 TCP/UDP 通信設定

編集モード
変更あり

新規作成

TCP/UDP通信設定

自己IPアドレス

0 . 0 . 0 . 0

自己ポート番号

1024

相手先 IPアドレス/ドメイン名

IPアドレス

172 . 20 . 0 . 4

ドメイン名

相手先ポート番号

60000

接続先APN情報

kddim2mcloud1

接続認証方式

認証なし
 PAP
 CHAP(MD5)

ユーザー名

XXXXXXXXX@kddim2mcloud1

パスワード

ダミーデータ定期送信

無し

無通信状態継続時の切断開始時間

1

秒

通信網接続後の通知メッセージ(UDP時)

IP-Pushサービスによる端末呼出有無

なし

(※初期値は、「通信方式＝KDDIクラウドサービス」用となっています。独自にCPA/CRG回線を敷設される際は、該当する回線に基づいた設定を行ってください。)

名称(入力範囲)	内容
自己 IP アドレス (0.0.0.0～255.255.255.255)	DMA-T2Kの IP アドレスを設定します。 ※公衆携帯電話網などの OPEN 網使用時は、「0.0.0.0」としてごさい。
自己ポート番号 (0～65535)	受信用のポート番号を設定します。
相手先 IP アドレス/ドメイン名 (0.0.0.0～255.255.255.255/ 48 半角文字以内。半角英数字、 「-」、「.(ピリオド)のみ使用可能)	相手先の IP アドレス(またはドメイン名)を設定します。 ※公衆携帯電話網などの OPEN 網使用時は、「0.0.0.0」としてごさい。IP アドレスかドメイン名のどちらかを選択して入力してください。
相手先ポート番号 (0～65535)	送信用のポート番号を設定します。
接続先 APN 情報 (100 文字以内。半角英数字、 「-」、「.(ピリオド)のみ使用可能)	公衆携帯電話網(または VPN 専用網)への接続に使用する APN 情報を設定します。

操作説明書

名称(入力範囲)	内容
接続認証方式	回線接続時の認証方式を選択します。
ユーザー名 (54 半角文字以内)	回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。
パスワード (16 半角文字以内)	回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。
ダミーデータ定期送信 (無し、1 分～10 分)	UDP/TCP 通信サーバー宛てへのダミーデータ送信有無と、送信周期を設定します。
無通信状態継続時の切断開始時間 (0 秒～660 秒)	無通信状態継続時の切断開始時間を設定します。 ※0 秒設定時は無通信状態継続時の切断開始なし
通信網接続後の通信メッセージ (UDP 時) (最大半角 8 文字)	通信網接続後の通信メッセージを設定します。 ※IP-Push サービスの呼出による接続後、UDP サーバアプリケーションへ通知するメッセージ
IP-Push サービスにより端末呼出有無	IP-Push サービスにより端末呼出有無を設定します。 ※無し設定時、呼出を受けても、ネットワークに接続しない、有り設定時は SMS 着信による呼出を受け、ネットワークに接続する

5.2.2 本体動作設定

設定メニューの「本体動作」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの動作全般に関わる設定を行います。

名称(入力範囲)	内容
装置情報 (6 半角文字以内)	DMA-T2Kから送信される各イベントの本文に付加される内容を設定します。
パラメータバージョン	設定しているパラメータを区別させるための番号を記載します。
使用 SIM 選択 (モジュール内組込 SIM 外部 SIM)	使用する SIM の種類を選択します。 (nanoSIM カードをセットしてご使用いただく場合は、「外部 SIM」を選択してください。)
外部 SIM PIN コード (4 桁半角数字)	外部 SIM の PIN コードを設定します。

5.2.2.1 時刻補正設定

設定メニューの「時刻補正」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの時刻補正の実施有無、および実施する際の接続設定を行います。

名称(入力範囲)	内容
時刻補正実施 (実施しない、1～30日)	時刻補正の実施有無、および実施する場合の実施間隔を設定します。

5.2.2.2 停電／復電通報設定

設定メニューの「停電／復電通報」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの停電時、および復電(電源復旧)時の動作を設定します。

停電／復電通報設定

停電検出タイマー 秒以上の停電時に停電を検出する

停電通報実施選択 停電通報しない 停電通報する

停電通報送信後に復電した場合のみ復電通報が送信されますので、停電通報を実施しない場合は復電通報も実施されません。

復電検出タイマー 秒以上の復電時に復電を検出する

復電通報実施選択 復電通報しない 復電通報する

名称(入力範囲)	内容
停電検出タイマー (1.0～1000.0 秒。0.1 秒単位で設定)	DMA-T2Kへの電源供給が切断した際、停電と判断するまでの時間を設定します。
停電通報実施選択	停電と判断した際に停電イベントを通報するかどうか選択します。
復電検出タイマー (1.0～1000.0 秒。0.1 秒単位で設定)	停電と判断した後、DMA-T2Kへの電源供給が再開した際、復電(電源復旧)と判断するまでの時間を設定します。
復電通報実施選択	復電と判断した際に復電イベントを通報するかどうか選択します。 ※停電イベントが通報されなかった場合、復電イベントも通報されませんので、ご注意ください。

5.2.2.3 停電通報送信設定

設定メニューの「停電通報送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの停電イベント通報時に送信される件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

但し、通信方式が UDP、TCP クライアント選択時は送信先アドレス設定する必要がありません。KDDI クラウドサービス選択時はこの画面すべて設定する必要がありませんので、ご注意ください。

名称(入力範囲)	内容
件名 (全角 10 文字、半角 20 文字以内)	停電イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (全角 32 文字、半角 64 文字以内)	停電イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	停電イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。

5.2.2.4 復電通報送信設定

設定メニューの「復電通報送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの復電(電源復旧)イベント通報時に送信される件名、本文メッセージ、送信先を設定します。但し、通信方式が UDP、TCP クライアント選択時は送信先アドレス設定する必要がありません。KDDI クラウドサービス選択時はこの画面すべて設定する必要がないので、ご注意ください。

The screenshot shows a software interface for configuring power restoration notification transmission. At the top, there are buttons for '編集モード' (Edit Mode) and '変更あり' (Changes Made). Below these is a '新規作成' (New Creation) button. The main title is '復電通報送信設定' (Power Restoration Notification Transmission Settings). The form contains three main sections: '件名' (Subject) with a text input field containing 'SUBPUP'; '本文メッセージ' (Message Body) with a text input field; and '送信先アドレス' (Destination Address) with a list of 10 checkboxes, each labeled '1 (未登録)' through '10 (未登録)'. The '送信先アドレス' section is highlighted in blue.

名称(入力範囲)	内容
件名 (全角 10 文字、半角 20 文字以内)	復電イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (全角 32 文字、半角 64 文字以内)	復電イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	復電イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。

5.2.2.5 定期通報設定

設定メニューの「定期通報」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kから一定周期ごとに送信される定期通報イベントの設定を行います。

名称(入力範囲)	内容
定期通報 A 送信間隔	定期通報 A(現在入力値情報)の送信間隔を設定します。
定期通報 B 送信間隔	定期通報 B(アナログ(AI)ロギングデータ情報)の送信間隔を設定します。

5.2.2.6 定期通報A送信設定

設定メニューの「定期通報 A 送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの定期通報 A イベント通報時に送信される件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

但し、通信方式が UDP、TCP クライアント選択時は送信先アドレス設定する必要がありません。KDDI クラウドサービス選択時はこの画面すべて設定する必要がないので、ご注意ください。

名称(入力範囲)	内容
件名 (全角 10 文字、半角 20 文字以内)	定期通報 A イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (全角 32 文字、半角 64 文字以内)	定期通報 A イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	定期通報 A イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。

5.2.2.7 定期通報 B 送信設定

設定メニューの「定期通報 B 送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの定期通報 B イベント通報時に送信される件名、送信先を設定します。

但し、通信方式が UDP、TCP クライアント選択時は送信先アドレス設定する必要がありません。KDDI クラウドサービス選択時はこの画面すべて設定する必要がないので、ご注意ください。

名称(入力範囲)	内容
件名 (全角 10 文字、半角 20 文字以内)	定期通報 B イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
送信先アドレス	定期通報 B イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。

5.2.2.8 通知過多検出

設定メニューの「通知過多検出」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2KからAI、DIで一定時間内に一定回数分の入力ON(閾値 OVER)通報を行った場合に、通知過多状態発生と判断することによって「ON/OFF(閾値 OVER/復帰)入力変化の監視機能」を一時的に停止させる機能を設定します。

名称(入力範囲)	内容
検出範囲時間 (1~9時間)	AI 通知過多検出範囲時間(Ta)を設定します。
検出カウント数 (0~9回)	通知過多検出カウント数(Cb)を設定します。 (※0 回の場合、通知過多検出機能無効)
ロック自動復帰時間 時:00~48 分:00~59	通知過多による入力変化通報停止状態からの復帰時間(Tc)を設定します。

通知過多検出設定

アナログ入力 接点入力

DI01	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI02	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI03	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI04	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI05	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI06	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI07	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI08	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI09	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回
DI10	検出範囲時間	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 1 時間
	検出カウント数	<input type="text" value="0"/> 回

ロック自動復帰時間 自動復帰無し 24 時間 00 分

名称(入力範囲)	内容
検出範囲時間 (1~9時間)	DI 通知過多検出範囲時間(Ta)を設定します。
検出カウント数 (0~9回)	通知過多検出カウント数(Cb)を設定します。 (※0 回の場合、通知過多検出機能無効)

5.2.2.9 テスト送信設定

設定メニューの「テスト送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの「テスト送信」キーを長押しした際に送信されるテスト送信イベント通報時の件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

但し、通信方式が UDP、TCP クライアント選択時は送信先アドレス設定する必要がありません。KDDIクラウドサービス選択時はこの画面すべて設定する必要がありませんので、ご注意ください。

名称(入力範囲)	内容
件名 (全角 10 文字、半角 20 文字以内)	テスト送信イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (全角 32 文字、半角 64 文字以内)	テスト送信イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	テスト送信イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。

5.2.3 接点入力設定

設定メニューの「接点入力」をクリックすると表示される画面です。

設定済みの接点入力動作に関する一覧表を表示します。

新規作成							
接点入力設定							
接点入力設定一覧							
	他入力情報送信	判定タイム(秒)		入力タイプ	論理	変化通報	
		ON	OFF			ON	OFF
DI 01	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 02	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 03	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 04	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 05	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 06	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 07	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 08	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 09	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DI 10	該当入力のみ送信	1.0	1.0	接点入力	正論理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5.2.3.1 接点入力動作設定

設定メニューの「DI01 動作」から「DI10 動作」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kの接点入力の検出条件や通報条件に関する設定を行います。

名称(入力範囲)	内容
計測項目情報 (全角 8 文字、半角 16 文字以内)	イベント通報時の本文に付加される名称を設定します。
他入力情報送信	この接点入力イベントが通報される際、アナログ入力情報、および他 Ch の接点入力情報を一緒に本文に付加するかどうかを選択します。
判定タイマ (ON 検出 0.5~3600.0 秒) (OFF 検出 0.5~3600.0 秒) (0.1 秒単位で設定)	接点入力を選択された場合、接点入力(接点が短絡、もしくは開放)された際に ON、もしくは OFF と判断するまでの時間を設定します。
判定タイマ (ON 検出 0~3600.0 秒) (OFF 検出 0~3600.0 秒) (0.1 秒単位で設定)	パルス入力を選択された場合、パルス入力された際に ON、もしくは OFF と判断するまでの時間を設定します。
入力タイプ	接点入力/パルス入力を選択します。
入力論理選択	接点入力時の論理を選択します。

名称(入力範囲)	内容
変化通報条件	接点入力状態が変化した際に通報を実施するかどうかを選択します。
リポート送信 (送信間隔 3~99 分) (送信回数 1~20 回)	ON 時、OFF 時イベント通報後、ON、または OFF 状態が一定時間継続した際に送信されるリポート送信イベントの通報条件を設定します。 ※ON 時、OFF 時イベント通報後に実施されるイベントのため、状態変化確認がリアルタイムに設定されていないと無効になります。
積算カウント初期値	定期通報 A の間隔内に発生したパルス数を設定します。 (定期通報 A イベント検出時にカウントをクリア→「積算カウント=0」に戻る)
累積カウント初期値	DMA-T2K動作開始以降の累積パルス数を設定します。

5.2.3.2 接点入力送信設定

設定メニューの「DI01 送信」から「DI10 送信」をクリックすると表示される画面です。

接点入力状態に応じて発生する各イベント(ON時、OFF時)通報時の件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

但し、通信方式が UDP、TCP クライアント選択時は送信先アドレス設定する必要がありません。KDDI クラウドサービス選択時はこの画面すべて設定する必要がありませんので、ご注意ください。

名称(入力範囲)	内容
ON 時／OFF 時	それぞれのタブをクリックする事で、各イベント通報時の件名と本文メッセージ入力欄を切り替えます。
件名 (全角 10 文字、半角 20 文字以内)	各イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (全角 32 文字、半角 64 文字以内)	各イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	各イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。

5.2.4 アナログ入力設定

設定メニューの「アナログ入力」をクリックすると表示される画面です。

設定済みのアナログ入力動作に関する一覧表を表示します。

新規作成

アナログ入力設定

アナログ入力値ロギング間隔 アナログ入力値をロギングしない
 秒ごとにロギングする

アナログ入力設定一覧

	計測項目情報	判定タイム(秒)		閾値&通知条件			
		ON	OFF	下下限	下限	上限	上上限
AI01		0	0	200	300	600	999
				—	—	—	—
AI02		0	0	200	300	600	999
				—	—	—	—
AI03		0	0	200	300	600	999
				—	—	—	—
AI04		0	0	200	300	600	999
				—	—	—	—

5.2.4.1 アナログ入力動作設定

設定メニューの「アナログ入力」から「AI01 動作」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Kのアナログ入力の検出条件や通報条件に関する設定を行います。

新規作成

AI01 動作設定

使用選択 使用する (0~20mA / 0~5V)

計測項目情報 項目名 単位

他入力情報送信 該当入力のみ送信

判定タイマ 通報タイマ 0 秒 / 復帰タイマ 0 秒

「オフセット ≤ 下下限閾値 ≤ 下限閾値 ≤ 上限閾値 ≤ 上上限閾値 ≤ フルスケール」、「オフセット ≤ 下下限復帰値 ≤ 下限復帰値 ≤ 上限復帰値 ≤ 上上限復帰値 ≤ フルスケール」の大小関係になるように設定ください。

オフセット 0 (0mA, 0V入力時の変換値)

フルスケール 1023 (20mA, 5V入力時の変換値) ← 精度決定項目

上上限設定 閾値 999 復帰値 999
通知条件 通知しない

上限設定 閾値 600 復帰値 600
通知条件 通知しない

下限設定 閾値 300 復帰値 300
通知条件 通知しない

下下限設定 閾値 200 復帰値 200
通知条件 通知しない

名称(入力範囲)	内容
使用選択	アナログ範囲を(0~20mA / 0~5V)もしくは(4~20mA / 1~5V)のどちらで使用するかを選択します。
計測項目情報 項目名 (全角 8 文字、半角 16 文字以内)	イベント通報時の本文に付加される名称を設定します。
計測項目情報 単位 (全角 3 文字、半角 6 文字以内)	イベント通報時の本文に付加される単位を設定します。
他入力情報送信	この接点入力イベントが通報される際、アナログ入力情報、および他 Ch の接点入力情報を一緒に本文に付加するかどうかを選択します。
判定タイマ (ON 検出 0~3600 秒) (OFF 検出 0~3600 秒) (1 秒単位で設定)	アナログ入力された際に判断するまでの時間を設定します。

名称(入力範囲)	内容
オフセット (半角 5 文字以内。「-」(マイナス)、 「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使 用可能)	アナログ入力範囲の下限値が入力された際の変換値を設定しま す。
フルスケール (半角 5 文字以内。「-」(マイナス)、 「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使 用可能)	アナログ入力範囲の上限値が入力された際の変換値を設定しま す。 この項目はデータの精度を決定します。
閾値 (半角 5 文字以内。「-」(マイナス)、 「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使 用可能)	変換後のアナログ入力値に対する閾値を設定します。 通報条件の設定に応じて、入力値が閾値を超過した時、もしくは閾 値以下になった時に閾値オーバーイベントを検出して、通報します。
復帰値	閾値オーバーイベント通報後、同じレベルの閾値オーバーイベン トを再検出するための復帰値を表示しています。 ※復帰条件を満たすまでは、閾値をオーバーしてもイベントとして検 出しません。
通知条件	アナログ入力状態が変化した際に通報を実施するかどうかを選択し ます。

5.2.4.2 アナログ入力送信設定

設定メニューの「AI01 動作」から「AI01 送信」をクリックすると表示される画面です。

アナログ入力状態に応じて発生する各イベント通報時の件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

但し、通信方式が UDP、TCP クライアント選択時は送信先アドレス設定する必要がありません。KDDI クラウドサービス選択時はこの画面すべて設定する必要がないので、ご注意ください。

名称(入力範囲)	内容
上上限発生/復帰 上限発生/復帰 下下限発生/復帰 下発生/復帰	それぞれのタブをクリックする事で、各イベント通報時の件名と本文メッセージ入力欄を切り替えます。
件名 (全角 10 文字、半角 20 文字以内)	各イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (全角 32 文字、半角 64 文字以内)	各イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	各イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。